

サッカーを通じて「こころ」を育む 浦和レッズハートフルクラブ

サッカーJ1浦和レッドダイヤモンズの元選手やコーチたちで平成15年に設立されたハートフルクラブ。サッカーを通じて「こころ」を育むことを目的に、スクール活動や地域への社会貢献活動を行っています。平成23年から「東日本大震災等支援プログラム」の一環として、子どもたちに「心のケア」を続けてきました。支援開始から15年目、活動の区切りを迎えることとなつたハートフルクラブの活動を振り返ります。



町との関わり



東日本大震災が発生した平成23年にいち早く、支援プロジェクトとして「ハートフルサッカーin東北」を開催していただきました。ほかにも、少年用ミニゴールの寄贈や大槌まつりへの出店など、多大なご支援を賜りました。



「こころ」の大切さを学ぶ ハートフルサッカー in 東北

町内の保育園や幼稚園、学校などで開催されたサッカー教室。指導を受けた大槌町の子どもたちは15年間で約1500人にも及びます。子どもたちにたくさんの笑顔と元気を与えてもらいました。



初蹴りエンジョイ！ハートフルサッカー

大槌町営サッカー場のオープンを記念して、令和4年1月6日（木）に開催された「初蹴りエンジョイ！ハートフルサッカー」。新年を迎えたグラウンドで、大槌町と山田町のスポーツ少年団約50人が指導を受けました。



スポーツで大切な3つの「こころ」を学びました

- 1 「仲間を信頼しあるもいやるこころ」
- 2 「お互いに楽しむこころ」
- 3 「何事も一生懸命やるこころ」



コーチからのメッセージ



おち あい
落合 弘
コーチ

今を一生懸命に、ベストを尽くして子どもたちに接してきました。大槌町を訪れるたびに我々が元気をもらい、それが続けてこられた要因です。このような時間を与えてくれたことに感謝しかありません。



かみ の
神野 真郎
コーチ

初めて訪れたときから、子どもたちの元気な笑顔を思い浮かべながら活動してきました。これからも「素直さ」や「たくましさ」を生かしながら、一生懸命いろいろなことに挑戦してほしいです。



ハートフルクラブの皆さん
長きにわたるご支援
ありがとうございました